

1180 | 日本画Ⅳ

3 単位（通信授業 1 単位、面接授業 2 単位）

重政啓治教授、内田あぐり教授、神彌佐子講師、東俊行講師、星晃講師、和田雄一講師

授業の概要と目標

人体をテーマに、形態としての人体の骨格、動き、自然造形の美しさを把握し、人から受ける内面性を探りながら、日本画の素材を使って独自の表現を追求する。

通信授業では、身近な人をモデルにイメージを捉えることを重点に学び、面接授業では、デッサンと制作を通して人を描くための下図の作り方、人体と空間の関係、構成等を学び、更に、独自の表現をするための岩絵具による色彩の研究、支持体、マチエール等、日本画の様々な技法を研究して人体制作をする。

課題の概要

○通信授業課題「人物を描く」

身近な人、又は自己をモデルに次の条件でクロッキー及びデッサンをする。又、デッサンをもとに日本画制作をする。

- ・人物の顔、上半身、全身のクロッキーをする。
- ・身近な人や自己をモデルに身体のデッサンをする。
- ・クロッキーやデッサンをもとに日本画制作をする。

○面接授業課題「身体を描く」

- ・人体デッサンをもとに 30 号以上の日本画制作をする。

授業計画

[通信授業]

学習指導書『日本画Ⅲ～Ⅴ 平成 29 年度』の「日本画Ⅳ」、教科書『日本画・表現と技法』の「人間を描く」、『現代日本画の発想』をもとにした授業。

[面接授業]

第 1 日	午前：前提講義及び制作	午後：制作（デッサン）
第 2 日	午前：制作（デッサン）	午後：制作（デッサン）
第 3 日	午前：制作（準備・下図）	午後：制作（下図）
第 4～5 日	午前：制作	午後：制作
第 6 日	午前：制作	午後：制作及び採点・講評

成績評価の方法

通信授業課題と面接授業課題の総合評価とする。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 3 年次

[履修条件] 「日本画Ⅲ」の単位を修得しているか、同時に履修登録すること。

[備 考] 油絵学科日本画コース 3 年次必修科目。

「日本画Ⅲ」、「日本画Ⅳ」、「日本画Ⅴ」は、ローマ数字の順に学ぶことで学習効果が高まるように授業内容が設定されている。ただし、スクーリング日程の都合などにより順序通りの受講ができない場合は、受講順序は問わない。

教材等

教科書：『日本画 表現と技法』（武蔵野美術大学出版社 2002 年）

『現代日本画の発想』（武蔵野美術大学出版社 2004 年）

学習指導書：『日本画Ⅲ～Ⅴ 平成 29 年度』（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017 年）